

ねこのふくびき

木内南緒/作 よしむらめぐ/絵 岩崎書店
[3-0500913832] き



みゆは学校へいくとちゅう、しらない男の子によびとめられました。男の子は、みゆがかっている、ねこのルークだといいます。ねこの町のふくびきで「ねこのきゅうか」をあて、一日だけ人間になったのです。みゆと学校に行くことになりましたが、ルークはねこの時のくせがぬけません。

はからはじまるカルシウムのはなし

はを土にうめたら かけらになって カルシウムがとびだした。どこへ たどりついたでしょう。

わたし、パリにいったの

はなちゃんと めめちゃんは パリのしゃしんをみながら おしゃべりするのが だいすき。

なっちゃんになつ

くずのつる ひまわり あおさぎ。かわらには なっちゃんが すきなものが たくさん。

世界のあいさつ

においをかぐ、舌を出す、おねをたたく。世界には おもしろいあいさつが いっぱい。

おすのつぼにすんでいたおばあさん

小さなさかなを たすけたおばあさんは、「のぞみをすべて かなえてあげる」といわれます。

とら猫とおしょうさん 日本昔ばなし

びんぼう寺のおしょうさんがかわいがっていた猫のとらは、ふしぎな力でおんがえしをします。

たけのこなんのこ?

たけのこは 「たけ」の「こども」。たけのこのなかを のぞいてみると、のびる ひみつが わかるよ。

なんでもあらう

鎌田歩/作 福音館書店
[3-0500160903] えほん 5/あおいろ



けんちゃんは自転車がよごれていても、きにしません。けれどもモップとバケツをもっておじさんが、「きたないままだとあぶないぞ」と言って、きれいにしてくれました。それからふたりは、道路や電車などをあらうようすを見に行きました。どうやってあらうのでしょうか。

伊沢尚子/作 ダイスケ・ホンゴリアン/絵
福音館書店 [3-0500853072] えほん 4/あおいろ

たかどのほうこ/著
のら書店 [3-0500862880] た

伊藤比呂美/文 片山健/絵
福音館書店 [3-0500696015] えほん か/みどり

長新太/さく 福音館書店
[3-0190329253] 38

ルーマー・ゴッデン/文 中川千尋/訳・絵
徳間書店 [3-0201030517] こ

おざわとしお/再話 かないだえつこ/絵
くもん出版 [3-0210002197] えほん 3/あおいろ

ひさかたチャイルド
[3-0500860061] えほん 4/あおいろ

よんでみよう

2022



こんなほん

1・2ねんせい

横浜市鶴見図書館

電話 045-502-4416

□は ラベルのきごう (ほんの ある ばしょ)
[]は ほんを よやくするとき
「よやくもうしこみしょ」に かく ばんごうです



れいぞうこのなつやすみ

村上しいこ/さく 長谷川義史/え PHP研究所
[3-0206037786] む



ぼくのうちの れいぞうこが、うごかなくなった。れいぞうこは、「わたしも なつやすみを もらって いかい プールへ 行ってみたい。」と いったんだ。

ナナはセラピードッグ

ジュリア・ドナルドソン/ぶん サラ・オギルヴィー/え
福本友美子/やく B.L出版 [3-0500849826]



にゅういんちゅうの人をげんきにするセラピードッグのナナ。ナナをなでてぎゅっとするとみんなえがおになります。ある日男の子をたすけたナナは、けがをしてしまいました。

やさいの花

埴沙萌/写真 嶋田泰子/文 ポプラ社
[3-0500382830] えほん 4/あおいろ



まいにちたべている やさいにも 花がさくことを していますか? サツマイモの花は、アサガオそっくり。ネギ、ゴマ、トマトなどの花を、大きなしゃしんでみてみよう。

カテリネツラとおにのフライパン

イタリアのおいしい話
剣持弘子/訳・再話 剣持晶子/絵 こぐま社
[3-0500624128] 38.8



カテリネツラは くいしんぼう。おいしいドーナツをおれいにもって行くはずが、すべてたべてしまいました。おにがおこってたいへんなことに! お話はぜんぶで4つです。

4ひきのちいさいおおかみ

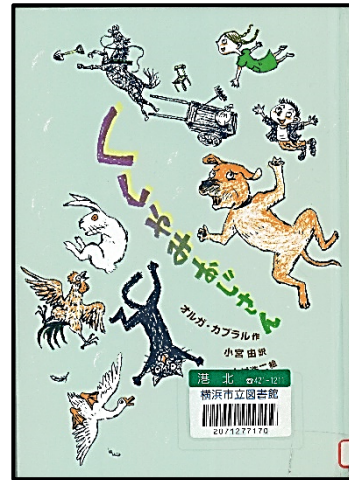
スベンヤ・ヘルマン/文 ヨゼフ・ヴィルコン/絵
石川素子/訳 徳間書店 [3-0500847141]
えほん ヒ/ももいろ



ほしのきれいなよる、4ひきのおおかみのこどもはおかあさんがいないときにすあなからそとへでてみました。もりのなかをどンドンすすんでいくうちにおなかがすいてきました。おかあさんにあいたくなりました。でも、すあながどこかわかりません。

くしゃみおじさん

オルガ・カブラル/作 小宮由/訳 山村浩二/絵
岩波書店 [3-0500895723] カ



ハツツクション！ハツツクチン！ハツツクショーイ！おじさんが、すごいくしゃみをする、うさぎの耳がふきとんで、ねこにくっついた！いぬもがちょうも子どもたちも、たいへんなことに。おじさんに、もとにもどしてもらわなきゃ。さし絵もゆかいなおはなしです。

ものぐさトミー

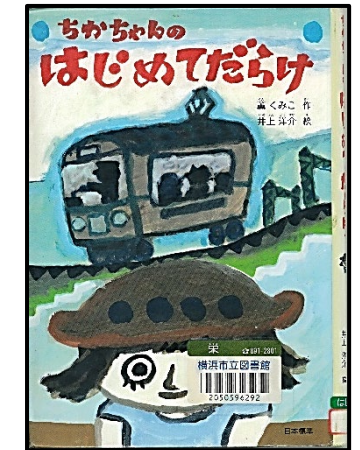
ペーン・デュボア/文・絵 松岡享子/訳 岩波書店
[3-0190010389] えほん テ/ちゃいろ



トミー・ナマケンボは、電気じかけのいえにすんでいます。朝になると、ベッドが動き、トミーを下におとします。おふろに食事と、すべて機械がやってくれます。ある夜、電線がきれて、機械が動かなくなりました。7日たって電気はもとどおりになりますが、トミーにたいへんなことが！

ちかちゃんのはじめてだらけ

薫くみこ/作 井上洋介/絵 日本標準
[3-0207039355] く



ちかちゃんは、小学2年生。あこがれの美容院でかみをきってもらったら、とちゅうでねてしまって、まえがみをきられすぎた。きになっているふといまゆげがまるみえに…。美容院、歯医者さん、「スキ」な人…ドキドキ・ハラハラのおはなしがぜんぶで3つあります。

うそ

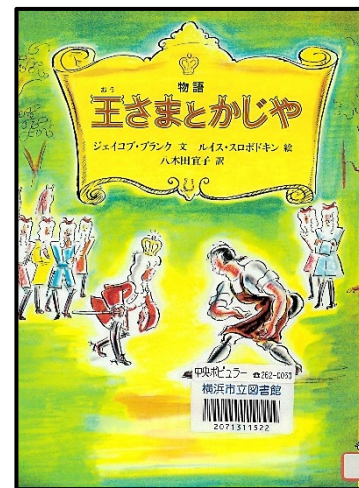
谷川俊太郎/詩 中山信一/絵 主婦の友社
[3-0500866445] えほん な/みずいろ



「ぼくはきっとうそをつくだろう。おかあさんはうそをつくなと、いうけど、おかあさんもうそをついたことがあって。」ぼくはいぬのさんぽをしながらかんがえる。人はどうしてうそをつくんだろう。じっくりよみたいしのえほん。

ものがたり 物語 王さまとかじや

ジェイコブ・ブランク/文 ルイス・スロボドキン/絵
八木田宜子/訳 徳間書店 [3-0500907651] フ



8さいの王さまが森で馬にのっていると、からすが王さまの頭から、かんむりをさらっていきました。大臣たちは、だれもとりもどせません。そこで王さまは国いちばんの大声をもつかじやをよびました。木がたおれるような大声で、からすをびっくりさせようというのです。

わかめ

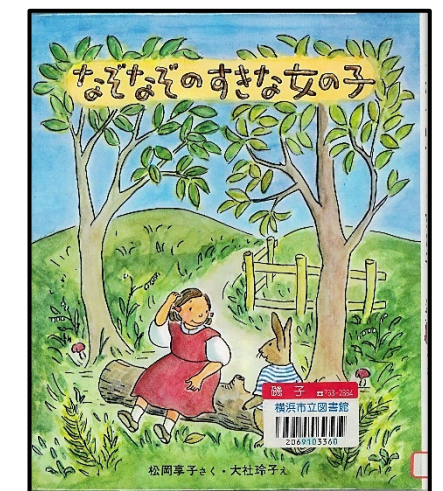
およいでそだってどンドンふえるうみのしょくぶつ
青木優和/文 畑中富美子/絵 田中次郎/監修
仮説社 [3-0500839861] えほん 6/あおいろ



「わかめ」って、なんだろう？うみのそこにはえている「かいそう」です。かみのけよりずっとちいさな「わかめのもと」からはじまり、うみのなかでおおきくなるようですが、よくわかります。りょうりやかんさつのしかたものってわかにくわしくなれますよ。

なぜなぜのすきな女の子

松岡享子/作 大社玲子/絵
学習研究社 [3-0190445208] ま



女の子が、なぜなぜのあいてをさがしに森へいきました。すると、おなかをすかせたオオカミとであいました。女の子は、オオカミになぞなぞをだしました。さて、オオカミはこたえがわかるでしょうか？この本には、たくさんのなぜなぜがでてきます。